



# ご注意ください!

最近、キャッシュカードの詐欺が増えています。

## 手口事例

### ①

警察を名乗る者が、電話で「あなたのキャッシュカードが悪用されているため手元のキャッシュカードを回収してほしい」と要請。続けて警察を名乗る者に替わって「新しいキャッシュカードに切り替えるため旧カードを回収する」と説明し、自宅に取りに来ることになる。



自宅にて、警官を騙った者にキャッシュカードを渡す。その際、暗証番号も教えてしまう。



\* 詐欺師は、そのままコンビニのATMで現金を引き出し逃走。

## 手口事例

### ②

全国銀行協会を名乗る者から「他人があなたのキャッシュカードを使用しようとした」と注意の電話あり。



時間を置いて、警察を名乗る者から「古いキャッシュカードは悪用される恐れがあるので、新しいカードに更新するように」と勧められる(会話の中で暗証番号等を聞き出される)。更新する場合は手元のキャッシュカードを一旦回収する必要があるとして、自宅に行くことになるが、留守で会えない場合に備えてキャッシュカードをポストに投函するように依頼あり。



\* キャッシュカードを袋に封してポストに投函。いつの間にかポストから盗まれ、詐欺師は他金融機関のATMで現金を引き出し逃走。

\* 詐欺師は、警察や弁護士、農協職員、全国銀行協会等を名乗り嘘の話を信じ込ませようとしています。

\* 農協職員等がキャッシュカードの暗証番号を聞くことはありません。ましてや、大切なカードをポストに投函することを依頼することは絶対ありません。

○上記手口はほんの一例です。もし、キャッシュカードに関する問い合わせの電話がありましたら、いったん電話を切り、お取引の支店に連絡して事実を確認しましょう。